



令和元年7月12日
海上保安庁

日露海上警備機関長官級会合の開催について

7月18日（木）、ロシア連邦（モスクワ）において、岩並秀一 海上保安庁長官とクリショフ・ヴラジーミル ロシア連邦保安庁国境警備局長官による「日露海上警備機関長官級会合」が開催されます。今回の長官級会合は3年連続15回目となります。

1. 経緯

海上保安庁は、平成12年9月、ロシア連邦国境警備庁（当時）との間で「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」を締結しました。

これに基づき、原則毎年1回、相互訪問による「日露海上警備機関長官級会合」を開催し、両機関の連携・協力の推進方策について協議し、海上における密輸、密航等の不法活動の取締り等において相互に協力してきました。

今回の長官級会合では、これまでの両機関間の連携・協力の現状を確認・評価するとともに、教育機関間の交流の方向性及び本年予定される日露合同訓練を介した地方機関間の連携・協力の活性化等、両機関間の今後の協力の方向性について意見交換を行う予定です。

2. 開催日程・場所

日 程： 令和元年7月18日（木）

場 所： ロシア連邦・モスクワ

3. 参加者

日本側： 岩並 秀一 海上保安庁長官 ほか

ロシア側： クリショフ・ヴラジーミル ロシア連邦保安庁国境警備局長官 ほか

4. 主な議題

- 両機関間の連携・協力関係の確認及び評価
- 今後の連携・協力の方向性について